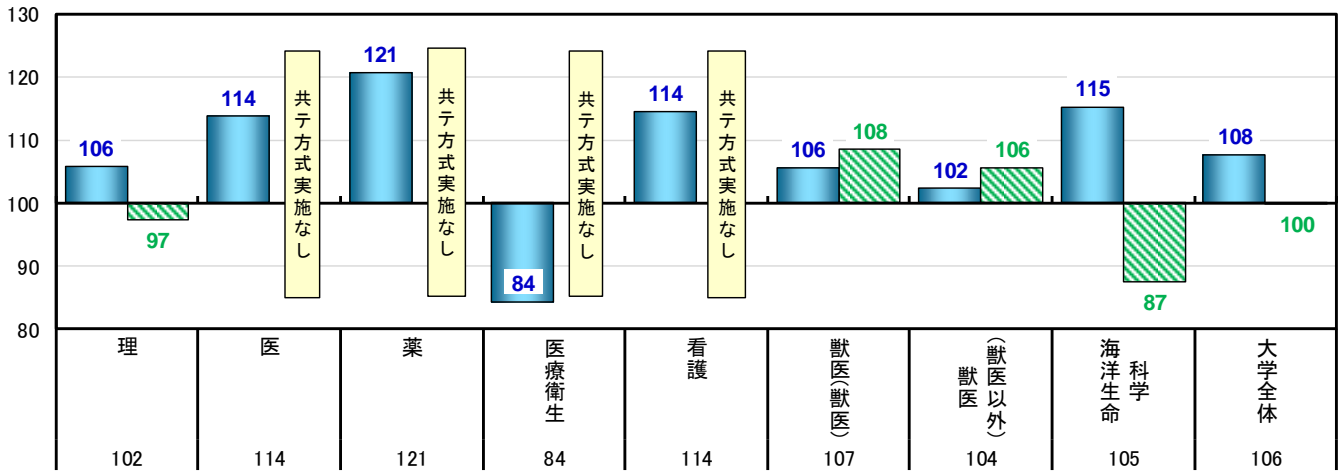


北里大：志願者数は6年ぶりに増加

一般：+689人 共テ：-2人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数

■ 一般方式 ■ 共テ利用方式



主な入試変更点

選抜方法：医療衛生(医療検査、医療工、リハビリテーション)〈一般・前期〉、獣医(獣医)〈一般・後期〉…〈第2志望制度〉新規実施
 医療衛生(保健衛生)…学科募集→コース別募集
 募集人員：薬(生命創薬科学)…〈一般・前期〉22人→20人
 医療衛生(医療工/診療放射線技術科学)…〈一般・前期〉48人→38人
 (医療工/臨床工学)…〈一般・前期〉35人→25人
 (リハビリテーション/言語聴覚療法学)…〈一般・前期〉18人→16人、〈一般・後期〉3人→2人
 (リハビリテーション/作業療法学)…〈一般・前期〉31人→20人、〈一般・後期〉3人→4人
 (リハビリテーション/視覚機能療法学)…〈一般・前期〉17人→13人、〈一般・後期〉3人→2人
 (リハビリテーション/理学療法学)…〈一般・前期〉35人→20人
 (保健衛生)…〈一般・前期〉22人→(保健衛生/環境保健学)11人、(保健衛生/臨床心理学)11人
 (保健衛生)…〈一般・後期〉10人→(保健衛生/環境保健学)4人、(保健衛生/臨床心理学)4人
 (医療検査)…〈一般・前期〉70人→50人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、687人(106)のやや増加で6年ぶりに増加。学部(獣医は(獣医)と(獣医以外))別では、医療衛生(84)のみ大幅減少。一方で、薬(121)は大幅増加、医(114)、看護(114)は増加、獣医(獣医)(107)、海洋生命科学(105)、獣医(獣医以外)(104)はやや増加、理(102)は微増。方式別では、一般方式は689人(108)の増加で6年ぶりに増加、共通テスト利用方式は2020年度から理、獣医、海洋生命科学の3学部のみ募集だが、2人(100)の微減で2020年度以降は連続減少。共通テスト受験前に出願締め切りとなる〈共テ・前期〉×〈共テ併用・プラス〉の合計(101)は前年度並。一方で、共通テスト受験後に出願可能なく共テ・後期×〈共テ併用・後期〉の合計(78)は大幅減少で、共通テストの平均点ダウンの影響で出願を諦めた層がいたことがうかがえる。

〈一般方式〉

- 理(106)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、3学科全てが増加。(生物科学)(110)は増加、(物理)(104)、(化)(103)はやや増加。
- 医(114)は、コロナ禍による首都圏の大学を敬遠する傾向が緩和した結果増加。志願者数は4年ぶりに2,000人を上回った。
- 薬(121)は、7年連続減少の反動と系統への人気の高まりから大幅増加。学科別では、(生命創薬科学)(133)は大幅増加で2年連続増加、(薬)(118)も大幅増加で8年ぶりに増加。
- 医療衛生(84)は、募集人員減少もあり2年連続大幅減少したが、志願倍率は逆に4.8倍→5.2倍にアップ。募集単位別では、7つの募集単位全てで減少。特に、(リハビリテーション/言語聴覚療法学)(37)は募集人員減少(前年度募集人員対比指数86)により激減で志願倍率も2.7倍→1.2倍にダウン、(リハビリテーション/作業療法学)(63)も募集人員減少(前年度募集人員対比指数71)により大幅減少で志願倍率も2.7倍→2.4倍にダウン。一方で、(リハビリテーション/理学療法学)(78)も募集人員減少(前年度募集人員対比指数63)により大幅減少だが、志願倍率は7.5倍→9.4倍にアップして競争は激化。
- 看護(114)は、2年連続減少の反動で増加。
- 獣医(獣医)(106)は、やや増加で5年ぶりに増加。方式別では、〈前期〉(100)は前年度並だが、〈後期〉(125)は大幅増加と対照的。
- 獣医(獣医以外)(102)は、微増だが4年ぶりに増加。学科別では、(生物環境科学)(114)は増加で4年ぶりに増加。一方で、(動物資源科学)(97)はやや減少で6年連続減少。
- 海洋生命科学(115)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加し、6年ぶりに増加。

〈共通テスト利用方式〉

- 理(97)は、やや減少で志願者数は2年連続1,000人を下回った。学科別では、(化)(106)は3年連続減少の反動は小さくやや増加、(物理)(105)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(生物科学)(86)は前年度増加の反動で減少。
- 獣医(獣医)(108)は、前年度大幅減少の反動で増加。方式別では、〈5教科〉(112)が増加、〈3教科〉(107)はやや増加。
- 獣医(獣医以外)(106)は、やや増加で4年ぶりに増加。学科別では、(生物環境科学)(107)、(動物資源科学)(104)のいずれもやや増加。

○海洋生命科学(87)は、減少で3年連続減少。志願者数は500人を下回った。